

## 9月7日(土)【ビーバー・カブ隊】救命救急講習

講習の前に丹原公民館で夏休みの間に9泊10日のキャンプに参加したボーイ隊の話を聞きました。直前に地震が起こってしまったため日程変更があったようでしたが、九州でたくさんの経験をされたようでした。1人で10日間も過ごし、食事の準備も自分たちでしたこと等を聞いて、ビーバースカウトもカブスカウトも尊敬の眼差し、次々と質問していました。

消防署に行く前に、消防署の仕事についてみんなが知っていることを話し合いました。一番に出てきたのはやっぱり火事。他にも災害時の活動や、救急車の仕事などの意見がでました。消防署に行くのが楽しみになりましたね。

西条西消防署を見学させていただきます。最初は消防車を見せて頂きました。消防車の側面にはいろんな設備がいっぱい。丸まったホースもずっしり重く、ホースの先につなぐ持ち手部分はさらに重たいです。1人ずつ持たせて頂きましたが、それに水圧が加わるととてもコントロールできそうにありません。レスキューの時に使用する道具はさらに重いものもあって、防護服も着ているので活動時の体力がとても要ります。だから毎日訓練をして筋肉や体力をつけているのですね。

救急車には命を救うための設備がいっぱい。子供たちの目に留まったのはアンパンマンのぬいぐるみ。老若男女救急車の利用があるので、小さな子供が少しでも落ち着くよう配慮されているのが伝わりました。移動のための担架やモニター、酸素等たくさんの設備がぎっしりと詰まっていました。

最後はクレーン車に乗せてもらいました。約30メートルまで上がると聞いて、保護者はすっかり尻込みしていたのに、子供たちは乗る気満々。我先にと言わんばかりに二人ペアになって、順番を待ちます。しっかり命綱をつけているといえども本当に高い！でもスカウトみんな笑顔で降りてくるのだからすごいです。みんな度胸があるね！将来、消防士さんになる子もいる…かな？貴重な体験をありがとうございました。

